

私とプリン

かしわぎ ようか
柏木 陽花(中国)

皆さん、こんにちは。 柏木陽花です。

3年前、中国の桂林から来ました。

今は、柏に住んでいます。私の家族は、主人とプリンの3人です。プリンは3歳の犬です。

今日はプリンについて話したいと思います。

3年前の夏、初めて日本に来ました。中国にいる時、少し日本語を勉強したが、全然普通の会話のレベルになりませんでした。もともと臆病な私にとって、知らない人との挨拶はすごく苦手です。外に出る勇気もありません。例えば、午前中11時頃の挨拶は、「おはようございます」ですか。それとも「こんにちは」ですか。全然、理解できていませんでした。

あの日の午前11時頃、私は「おはようございます」と挨拶したのに、相手は「こんにちは」と返事してきました。ああ大変、私の日本語はまるで駄目です。普通の日本人の挨拶と違うと思いました。当時すごく恥ずかしかったです。もう、それから人との付き合いは怖くなりました。ずっと家にいて、家から出なくなりました。

そんな日々が、2か月も続きました。

ある日、ペットショップに行きました。偶然に茶色の子犬が目に入りました。その子は体が丸々して、目を開いたまま、横になっていました。人が前に行っても近づかない、その逃げそうな眼を見たら、なんか、日本に来たばかりの私とすごく似ていました。

「君も私と一緒にだね。知らない人、知らないこと、怖いよねえ。じゃ、これから一緒に頑張りましょうね」と、私はその子に言っていました。

日本に来て一番好きになったものはプリンですから、その子の名前をプリンにしました。それから、毎日、朝夕ちゃんとプリンと一緒に散歩をしています。散歩する時、プリンはいろいろなわんちゃんと挨拶します。私も少しずつ飼い主との挨拶を始めることができました。外との付き合いもできるようになりました。

今は、介護の仕事をやっています。利用者さんが私のことを必要としてくれるから、私もやりがいがあります。

プリン、ありがとうね。

言葉なんて要らない。君が傍にいてだけで、私は元気になれる。(^^)